



町内視察風景

6月定例会

定例会

議案要旨 P 2
議案審議 P 3
採決状況 P 4
一般質問 P 5 ~ P 9

委員会のうごき P 10 ~ P 12
議会活動報告 P 13
町民の声 P 14

一般会計
補正予算31億774万9千円の
増額を可決!

要旨

6月定例会は、6月8日から16日までの9日間を会期として開催しました。

町長からは条例の改正・廃止、契約の締結・変更、補正予算、人事案件、報告案件など44件の議案が提出されました。また、議会からは6件の議案を提出し、これらについて審議を行いました。

議案の主な質疑内容は3ページ、審議結果（採決状況）は4ページに掲載のとおりです。

【主な議案等の内容】

- 補正予算は、一般会計ほか2特別会計及び水道事業会計を補正するもので、このうち一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ31億774万9千円増額するもので、これにより予算総額は275億7674万9千円となります。

《歳出補正予算の主なもの》

本庁舎改修工事（第3期）	1億400万円	2基金への積立金	20億6287万2千円
認定こども園建築工事	1億5512万2千円	子育て生活支援特別給付金	1654万1千円
小野田取水場建設事業	3億3040万9千円	ゼロカーボンビジョン策定業務委託	3000万円
ため池放射性物質対策工事	2億8061万7千円	サケふ化施設及び採捕施設等調査等委託	5175万7千円

- 条例改正のうち、浪江町水道事業給水条例の一部改正については、現在は、全区域を毎月検針し請求しているものを、2カ月に1回検針し請求することに変更するよう条例改正をするものです。
- 土地の取得については、室原地区防災拠点整備事業に伴い、その用地を取得するものです。
- 契約の締結のうち、浪江地区公共施設新築工事（建築）については、旧浪江中学校のスポーツセンター跡地に防災コミュニティセンター、消防車庫のほか駐車場を含めた外構の整備をするものです。先人の丘整備工事は、旧請戸共同墓地を先人の丘として整備するものです。
- 和解については、福島第一原子力発電所事故に係る損害賠償を求める調停の申し立てについて、原子力損害賠償紛争解決センターから和解案の提示があったことから、同和解案に基づき相手方と和解するものです。内容は、東京電力ホールディングス株式会社は、町に対し損害賠償金の支払い義務を有し、既に支払い済みである仮払金15億円を控除した51億3409万8451円を支払う内容となります。
- 人事案件については、各財産区管理委員会委員、農業委員会委員について同意し、浪江町選挙管理委員会委員及び補充員について選挙を行い、当選人と決定しました。

(敬称略)

苅野財産区管理委員会委員	柄本 勝雄 未永 章	石井 安宗 阿部 壯司	梶台 芳廣 丹伊田 敦	松本 伸一
津島財産区管理委員会委員	佐々木保彦 菅野 一利	嶋原 眞三 佐野富寿雄	石崎 茂 関場 健治	今野 勝彦
農業委員会委員	中野 弘寿 佐々木茂夫 紺野 宏	小澤 英之 柴野 正男 若月 芳則	原田 良一 神長倉正満 菅野富美恵	山本幸一郎 鈴木敬二郎 鈴木 幸子
選挙管理委員会委員 補充員	根本 伸治 第1順位 渡邊 第3順位 桑原	北 博子 幸 泉	神長倉正満 第2順位 佐山 第4順位 堀井	末永 一郎 弘明 宏宣

主な質疑内容を報告します。

(囲み数字は議案番号)

契約の締結

62 つしま活性化センター改修工事【1億4410万円】

特定復興再生拠点区域に位置づけられている津島地区において、拠点施設となるつしま活性化センター及び直売所について、帰還町民等の交流の場、将来的な支所的機能としての活用を目的とした改修工事となります。

質問 (紺野榮) 改修工事に直売所も入っているが、復興にどのように活かしていくのか伺います。

農林水産課長 将来的には直売所の活用も視野に入れながら、当面は農業者、町民に活用いただきながら、その後の活用を検討します。

(賛成全員で可決)

66 文六公園整備工事(その2)【3億2780万円】

施工面積は1万7950平方メートルであり、主に中央の遊戯広場、多目的広場、園内道路等の工事となります。

質問 (渡邊) ①県道との接点における除草及び樹木の整備、②整備後の管理はどのように考えているのか伺います。

建設課長 ①現状を確認し、通行の支障になるものについては、県と調整し対応します。②地域の方々と調整しますが、今後は町単独費用での管理も必要ではないかと検討しているところです。

(賛成全員で可決)

補正予算

78 令和3年度一般会計補正予算(第1号)

質問 (紺野榮) 水素社会実現への協定締結委託料の事業内容を伺います。

企画財政課長 アメリカランカスター市側から申し出のあった水素社会実現に向けた連携に

(賛成全員で可決)

ついて、当町で締結式を行うため経費について計上しています。

質問 (紺野榮) ボーリング工事業の内容を伺います。

住宅水道課長 帰還困難区域の復興再生拠点区域内である室原地区、津島地区に各1件ずつ井戸工事を行います。

質問 (山崎) ①認定こども園の工事請負費について、国県支出金が約3分の2、残りが一般財源となっているが、これは震災復興特別交付税で良いか。②子育て世帯生活支援特別給付金について、一人当たり5万円、300件でよろしいか伺います。

教育次長 ①財源については、保育所機能については厚労省より、幼稚園については文科省からの交付金になり県経由となります。補助金残については、震災復興特別交付税で措置されます。②ご質問のとおり、対象人数300人掛ける5万円で計上しています。

質問 (紺野則) ホームページ英語版サイト構築業務委託料の内容を伺います。

企画財政課長 アメリカランカスター市との連携を今後進める予定もあることから、継続的に浪江町を紹介する英語版のサイトを構築いたします。

(賛成全員で可決)

請願

賛成多数で採択

請2 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書 請願書

審査は産業・建設常任委員会に付託し、全会一致で採択となり、意見書を可決後、関係機関に提出しました。

○意見書の提出先

内閣総理大臣・厚生労働大臣・福島労働局長

○意見書の主な内容

福島県内の労働力確保、人口流出抑制・防止を見据えた金額とし、中小・地場企業に対する支援策を強化し、最低賃金の引き上げを行う環境を整備することを求めるもの。

意見書

賛成多数で採択

多核種除去設備等処理水の海洋放出に関する意見書

○意見書の提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・復興大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・環境大臣

○意見書の内容

東京電力福島第一原子力発電所構内に保管されている多核種除去設備等処理水の海洋放出について、国民、県民への丁寧な説明および風評被害への誠実な対応と対策の早期実行を強く求めるもの。

特別委員会を設置

適正な議員定数に関する調査・研究のため「浪江町議会議員定数調査特別委員会」を設置しました。

委員長 半谷 正夫
副委員長 小澤 英之
委員 吉田 邦弘・佐々木 茂
高野 武・松田 孝司
山崎 博文・紺野 榮重

令和3年6月定例会の採決状況 (6月15日・16日採決)

議案番号	議案 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席	審議 議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	関連ページ	
			武藤 晴男	紺野 豊	吉田 邦弘	佐々木 恵寿	小澤 英之	半谷 正夫	紺野 則夫	佐々木 茂	山本 幸一郎	高野 武	渡邊 泰彦	松田 孝司	平本 佳司	佐々木 勇治	山崎 博文	紺野 榮重		
議案第48号	浪江町税特別措置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第49号	浪江町復興産業集積区域における町税の課税免除に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第50号	浪江町企業立地促進区域及び避難解除区域等における町税の特例に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第51号	浪江町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第52号	浪江町手数料徴収条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第53号	浪江町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第54号	浪江町下水道条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第55号	浪江町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第56号	浪江町水道事業給水条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第57号	浪江町立小学校及び中学校条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第58号	浪江町立学校給食共同調理場設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第59号	浪江町保育所条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第60号	工事請負契約の締結について（浪江地区公共施設新築工事（建築））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第61号	工事請負契約の締結について（浪江地区公共施設新築工事（機械設備））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第62号	工事請負契約の締結について（つしま活性化センター改修工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第63号	工事請負契約の締結について（上ノ原ため池環境保全整備工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第64号	工事請負契約の締結について（堤上ため池環境保全整備工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第65号	工事請負契約の締結について（菅原橋橋梁災害復旧工事（下部工））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第66号	工事請負契約の締結について（丈六公園整備工事 その2）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第67号	工事請負契約の締結について（先人の丘整備工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
議案第68号	工事請負契約の締結について（地域公共施設外構整備工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第69号	工事請負契約の締結について（運動公園倉庫トイレ新築工事（建築））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第70号	物品購入契約の締結について（小型動力ポンプ付軽積載車購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第71号	物品購入契約の締結について（消防ポンプ自動車（CD-1型）購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第72号	物品購入契約の締結について（浪江町乾燥調製貯蔵施設用パレット購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第73号	物品購入契約の締結について（浪江町乾燥調製貯蔵施設用フォークリフト・ホイローダー購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第74号	工事請負契約の変更について（聖沢ため池環境保全整備工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第75号	工事請負契約の変更について（春卯野ため池環境保全整備工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第76号	土地の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第77号	和解について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第78号	令和3年度浪江町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2・3
議案第79号	令和3年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第80号	令和3年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第81号	令和3年度浪江町水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第2号	苅野財産区管理会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
同意第3号	津島財産区管理会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
同意第4号	農業委員会の委員の定数の過半数を認定農業者等又はこれに準ずる者とする事について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第5号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	退	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
報告第1号	令和2年度浪江町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第2号	令和2年度浪江町一般会計事故繰越し繰越計算書について	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第3号	令和2年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計事故繰越し繰越計算書について	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第4号	令和2年度浪江町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第5号	令和2年度浪江町水道事業会計予算繰越計算書について	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第6号	令和2年度浪江町一般会計継続費繰越計算書について	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
選挙第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出請願書	選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
請願第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
発委第4号	浪江町議会議員定数調査特別委員会設置に関する決議（案）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
	浪江町議会議員定数調査特別委員会委員の選任について	選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
発議第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書（案）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
発議第3号	多核種除去設備等処理水の海洋放出に関する意見書（案）	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
	委員会の閉会中の継続審査又は調査の申し出について	決定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



※佐々木恵寿議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わる事ができません。
 ※同意第5号中、小澤英之議員及び山本幸一郎議員は、地方自治法第117条の規定により議事に
 参与できないため退席（除斥）しています。
 ※報告議案・閉会中の継続審査は採決を行います。
 ※定例会・臨時会の会議結果は町ホームページでもご覧になれます。



4 議員が質問

■高野 武 (6ページ)

- (1) 供用開始の請戸漁具倉庫使用目的の変更は可能か
- (2) 請戸小学校震災遺構について
- (3) 棚塩仮設焼却炉
- (4) 請戸仮置き場
- (5) 浜街道沿いに桜並木を整備出来ないか

■紺野 榮重 (7ページ)

- (1) 持続可能な町づくりの件
- (2) 中心市街地整備事業の件
- (3) 農業の件
- (4) 新型コロナウイルスワクチンの件
- (5) 災害対応の件

■佐々木 茂 (8ページ)

- (1) 除染について
- (2) 復興牧場について
- (3) 選挙について
- (4) イノベーションコースト構想について
- (5) 文化施設や民俗資料館、学校の歴史資料館について

■渡邊 泰彦 (9ページ)

- (1) 『浪江町の将来像』について

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員の質問・答弁を合わせて1000文字程度に要約していますので、ご了承ください。

町政と問

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、政治的姿勢を明らかにするものです。そのことにより、現行政策の変更、是正あるいは新規政策の採用などの効果があります。





● 高野 武 議員 ●

Q 請戸漁具倉庫の利用変更は可能か

A 関係機関と協議していきます

質問 これから本格操業になれば、長時間労働、次の日に持ち越し、風雨対策等を考えたとき、室内での作業は必要不可欠になりますので、具体的な協議内容を伺います。

農林水産課長 具体的な件は、相馬双葉漁協と協議、周辺自治体の動向を踏まえながら検討していきます。

モニタリングポストについて

質問 ①請戸地区にモニタリングポストは何か所あるか。

②モニタリングポストの移動は可能か。

総務課長 ①原子力規制庁により請戸集会所跡地、浜街道境松付近、大平山霊園、環境省により請戸橋から漁港の途中、県より請戸小グラウンド南西付近の計5カ所です。

②関係機関との協議で移設、移動も可能と

伺っておりますので、協議していきます。

棚塩仮設焼却炉、焼却灰の発生量輸送監視について

質問 ①2019年当時保管焼却灰の最高線量は17万Bq/kgとの説明だが現在の最高線量は

②本年輸送計画の5600m³は現在保管中の一部か、今年中の焼却分も入っているのか、一日何

m³を何月ごろに、何回位で運ぶのか、今年の焼却予定t数は。

③中間貯蔵施設への搬入物で汚染濃度の高い物と低い物の区別と輸送車両の形状は。

④近年の台風水害の被害は甚大なものがあるので、梅雨時も含めてこの時期には在庫が少なくなるような搬出計画を作成すべきと考えるが。

住民課長 ①現在保管中の焼却灰の最高線量は4万6000Bq/kgで保管量は本年4月末で1万1543m³です。

②本年度焼却予定分も含めての輸送計画です。輸送時期、一日の輸送量等は現在調整中です。焼却予定廃棄物は約5万3000tを予定し灰の発生量は7950m³の見込みです。

③中間貯蔵施設へは10万Bq/kgを超える廃棄物を搬出し、それ以下は特定廃棄物埋立処分施設(旧エコテック)への搬出となります。中間貯蔵施設とは別に旧エコテック分は一日40〜50m³、10tダンブで9台、3台で3往復となっています。車両形状は10tダンブと思いますが遮水シートを敷いてその上にフレコンバックを積み再度シートで覆い粉塵の発生を抑えて輸送し

ています。

④気象条件等を考慮した輸送計画、保管とすべきところと考えておりますが、現在のところ県全体の仮置き場の輸送計画として実施されているところです。

町としても改めて住民の方々に不安を与えないような計画となるよう、環境省と引き続き協議してまいります。

請戸仮置き場について

質問 現在の保管量と搬出計画に記載がないのはなぜか、搬出完了の予定時期は。

住民課長 本年3月末で2万1300tです。不記載なのは

除染家屋解体で発生した廃棄物を選別するための、一時的な仮置き場の位置づけなので、輸送計画とは別に搬出しているためです。

ここで選別された可燃物は焼却施設へ運びその後は輸送計画に基づいて搬出されております。

本年度末まで一部返地を予定しておりますので、残る部分は現在も公共施設の解体工事等が進められていることから継続して設置することとしています。



移動の望まれるモニタリングポスト



● 紺野 榮重 議員 ●

Q 「町のこし」から「持続可能なまちづくり」とは何か。今後どのような目標で復興を目指しますか

A 「持続可能なまちづくり」を目指し浪江町復興計画【第三次】がスタートしました。移住定住を促進し、居住人口を増やし健全な行政運営に努めます

旧ふれあいセンター跡地の件

質問 社会福祉協議会の事務所、介護施設はどのようになるのか。

介護福祉課長 社会福祉協議会は、令和4年度に開設予定の介護関連施設へ移転し、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、通所介護事業所の開設を計画しています。

質問 以前にあった資料館は含まれないのか。

教育次長 まちづくり支援施設内に展示コーナーを設けます。埋蔵文化財調査の出土品、古い民具、農具など、町内出身の偉人の紹介、閉校となった各小・中学校ゆかりの品を展示します。

中心市街地整備計画の概要

質問 この事業の目的を伺います。

建設課長 中心市街地は家屋解体が進み、空き地が増加して

います。中心市街地再生の先導整備として、交流機能、商業機能、居住機能等を整備し、駅周辺の活性化を目指します。

質問 計画の概要、財源、面積を伺います。

建設課長 居住機能、交流機能、商業機能の配置、駅東西の連携を図るため、自由通路の整備計画です。財源は復興庁の一団地の復興再生拠点市街地形成施設事業です。事業想定区域は約8haです。

質問 線路南側の構想について伺います。

建設課長 地域スポーツセンターや現在整備を進めている地域公共施設などを中心とする公共益サービス拠点及び交通結節機能を活かした移動拠点などの整備を進めます。

農業は浪江町の基幹産業である

質問 令和2年度、作付け面積、令和3年度、作付け面積を伺います。

農林水産課長 令和2年度の

作付け面積は、水稲89ha、飼料作物2ha、野菜類18ha、花卉類7ha、その他穀物等18ha、合計134haです。

令和3年度作付予定は、水稲174ha、野菜類57ha、花卉類7ha、その他穀類46ha、合計284haです。

質問 群馬県の方がネギ栽培されておりますが、どのような組織で、どのような計画ですか。

農林水産課長 (有)青高ファームと(株)群馬電機工業です。川添

長ネギ管理耕作組合が設立され、両者とも組合員です。現在、上ノ原地区で5・4haのネギを定植し、将来的な作付面積をそれぞれ50haに拡大していくことを目指します。

質問 米乾燥調製施設の管理者はどこが主体となりますか。

農林水産課長 苜宿地区の施設は福島さくら農業協同組合、棚塩地区の施設は(株)舞台ファームが、優先交渉権者に選定されており



建設が進む介護施設、地域交流施設、屋内アスレチック施設

● 佐々木 茂 議員 ●



Q 帰還困難区域の除染についてどのように進めていくのか、どのように考えているか

A 切れ目なく次の除染が必要であり、国に対して方針を示していただくよう強く求めていきます

除染について

質問 際除染が進められていますが、残された町道の除染についてはどのように考えているのか。

また20mの範囲と家屋の解体が予定されていますが帰還困難区域の家屋は20m以上中に入っている家屋も多く、際除染の対象外となっている。

今後どのように進めるのか、住民の分断とならないようにしっかりと進めていただきたい。

企画財政課長 家の進入路が長いため除染の対象とならない方々がいることは十分認識しています。

帰還困難区域を抱える町村の協議会として、帰還困難区域全での除染・家屋解体を行うよう原子力災害現地対策本部長や復興大臣をはじめ関係大臣に粘り強く要望をしています。

質問 津島地区の集会において第2、第3ステージの拠点整備計画の概要の説明がありました。その後の進捗状況の説明を願いたい。

町として国に対しての要望はどうなっているのか、復興庁や

環境省は町から上がったてこないと言っている。どの話が正しいのか説明してください。

企画財政課長 平成29年にこの第2、第3ステージの要望書を届けています。

また国の要人へ事ある毎に要望しています。

文化施設や民俗資料館、学校の歴史資料館について

質問 町は以前民俗学の学芸員を採用するといいました。今、この町で必要なことは町の歴史を残すことです。

例えば、原田直之さんや佐々木俊一さんの記念館、更に町由来のポケットモンスターミュージアムを作り、この町の

文化の発祥や観光に役立てるべきだと思いますので考えていただきたい。

教育次長 ポケモンの田尻さんとは面識があります。版權等の問題もありますので、検討材料として、機会があればお会いして話をさせていただきたいと思っています。

原田直之さんや佐々木俊一さんの件についても少し勉強させていただきたいと思っています。



JR浪江駅構内に展示されているポケットモンスター（ポケモンキッズ）



佐々木俊一氏の碑



● 渡邊 泰彦 議員 ●

Q 持続可能なまちづくりに、最も必要なことは

A 5つの最重要課題に取り組んでいきます

浪江町の将来について

質問 国は、令和3年度から令和7年度までの5年間で第2期復興・創生期間に定められました。この5年間で浪江町にとって復興する最後のチャンスになると思います。持続可能なまちづくりに必要な最重要課題をお尋ねします。

町長 持続可能なまちづくりのためには、

1. 帰還困難区域の再生。
 2. 農林水産業などの生業の再生。
 3. 駅周辺などの中心市街地の再生。
 4. 移住・定住による居住人口の再生。
 5. 再生可能エネルギーなどの革新的事業による新たな産業と雇用の創出。
- この5つが必要であると考えています。これらを最重要課題として取り組んでいきます。

浪江町の人口増加について

質問 人がいなければ、復興は進みません。浪江町の居住人口を増やすことが必要不可欠だと思います。移住・定住に関して

は、企画財政課にタスクフォース（定住推進係）を組織して、課題解決に取り組んでいると思いますが、現在の進捗状況をお尋ねします。

企画財政課長 移住・定住に関する予算として、令和3年度当初予算に約1億3000万円を計上

しています。課題解決型地域活動支援事業につきましては、地域おこし協力隊1名および地域おこし企業人1名が活動を開始しています。7月より、3名が加わる予定です。活動内容について、さらに具体化して実行に移します。

質問 地域おこし協力隊が、3年間の任期終了後に、浪江町

で起業や就業して本格的に移住・定住できるような仕組みを考えるべきと思いますが、町の考えをお尋ねします。



移住・定住の促進がかぎとなる

企画財政課長 隊員が、地域の企業や地域の人たちとつながりを持って、活動期間満了後に定住するための、起業ないし就業のための支援体制を引き続き検討いたします。

国際教育研究拠点について

質問 福島県浜通り地域の

国際教育拠点に関する有識者会議において、2023年春に一部開所、2024年には本格開所のスケジュールが示されました。また、分散型ではなく、ハブ機能を有する観点から、集中型にすべきと示されました。誘致に関するプレゼンテーションについての町の考えをお尋ねします。

町長 国際教育研究拠点は、イノベーション・コースト構想の司令塔になるものと考えています。

1. 福島イノベーション・コースト構想の既存施設や福島第一原発との連携
2. 生活環境
3. 交通アクセス
4. 参加される大学あるいは企業等の意向
5. 避難指示が出されていた地域であること
6. 分散型ではなく集約型であること

この6つの点を踏まえて、しっかりと双葉郡に誘致を図ることが重要と考えています。

副町長 国・県から具体的なスケジュールや選定方法等は示されていませんが、しっかりと準備し提案できるようにしたいと思います。

思っています。

● 総務常任委員会 ●

総務課、企画財政課、住民課、津島支所、出納室が所管する案件を審議しています。

委員長 渡邊 泰彦
副委員長 小澤 英之
委員 高野 武
松田 孝司
佐々木恵寿



■ 住民課 ■ ごみステーション①

問 ごみステーションにおいて違反ごみが多くなっているが、対応策はどのように行っているか。

答 広報誌及びホームページで事例をあげて注意を喚起しておりまた、町において週に1回程度見廻りを行い確認しております。

■ 住民課 ■ ごみステーション②

問 利用頻度が少なく老朽化が激しいごみステーションについては、環境美化との観点から、撤去し集約を図ってはどうか。

答 現在設置しているごみステーションは、248箇所となっており、その所有が行政区、組等になっていることから調査を行った後に関係者と調整の上撤去、集約について検討してまいります。

■ 住民課 ■ ごみ等の収集運搬

問 現在、空き缶、ビンについては、月1回収集回収を行っておりますが発生が多いことから回数を増やすことは可能か。

答 双葉地方広域市町村圏組合へ要望したいと思います。

■ 総務課 ■ 浪江地区防災コミュニティセンター

問 浪江地区防災コミュニティセンターの整備が計画されているがどのようなものか。

答 仕様については、本年3月に完成しました大堀防災コミュニティセンターと同様な仕様となっており、非常時における避難所や地域の集会場として使用するよう整備致します。なお、断水時に飲料水として利用するための地上式貯水槽（20t）1基を設置します。



ごみステーション

■ 総務課 ■ 消防団員

問 現在の消防団員数は何人ですか。また、町内在住者は何人ですか。

答 団員は、414人です。なお、町内在住者については現在把握していないことから早急に確認し非常時に対応できるように致します。

■ 企画財政課 ■ ホームページ

問 現行のホームページは使用しにくいまた、分かりにくいとの意見がありますが、改善する考えは。

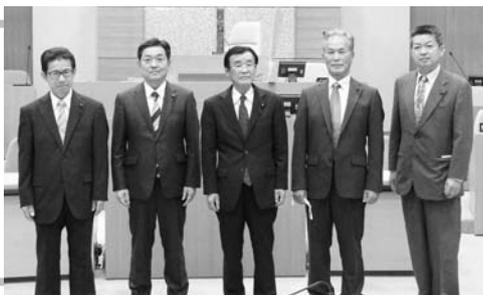
答 今年度は、使い勝手の良いものにするためにはどのようなものがよいか検討を行い、次年度において更新を図るように検討してまいります。

■ 企画財政課 ■ メールマガジン

問 メールマガジンは多くの情報が早く得ることができます。現在の登録者数と今後の対応についてどのように考えているか。

答 現在の登録者は6100人となっております。簡単に登録することができますので多くの方が登録するよう広報に努めます。

● 産業・建設常任委員会 ●



委員長 紺野 則夫
副委員長 武藤 晴男
委員 紺野 豊
山本幸一郎
山崎 博文

産業振興課、農林水産課、住宅水道課、建設課、農業委員会が所管する案件を審議しています。

■ 産業振興課 ■

ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組み

問 具体的にはどんな取り組みを計画しているのか。

答 道の駅なみえに再エネ発電の安定化のための蓄電池の導入のほか、役場駐車場に水素簡易充填設備を設ける等を計画しております。

問 FCV※1を町独自導入補助金は今後検討するのか。

答 今後導入検討する必要があります。

※1 「FCV」は「Fuel Cell Vehicle」の略で「燃料電池自動車」を指します。燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使って、モーターを回して走る自動車です。



道の駅なみえ純水素燃料電池



「モンドセレクション」で金賞を受賞

■ 住宅水道課 ■

NAMIE WATER

問 なみえの水の販売実績は。

答 昨年12月より今年6月まで1万本販売し、また、国際的な品質評価機関「モンドセレクション」で金賞を受賞したところです。

■ 建設課 ■

先人の丘整備工事

問 排水設備は。

答 浸透性側溝で敷地内排水を考えています。

■ 建設課 ■

防犯灯

問 国道114号の防犯灯整備状況は。

答 令和2年度は10基を設置し、令和3年度は20基を予定しています。



昨年設置された防犯灯

● 文教・厚生常任委員会 ●

教育委員会、健康保険課、介護福祉課、浪江診療所、仮設津島診療所が所管する案件を審議しています。

委員長 佐々木勇治
副委員長 吉田 邦弘
委員 半谷 正夫
佐々木 茂
平本 佳司
紺野 榮重



■ 教育委員会 ■ なみえ創成小学校

問 今年度の特徴ある取り組みは。

答 子どもたちが学校以外の場所で自然とふれあう活動を行い、心身の成長を支援する事を目的に「子ども週末チャレンジ」講座を開設し、田植え・釣り・遺跡発掘等、体験型のプログラムの実施を予定しています。

■ 教育委員会 ■ 浪江にじいろこども園

問 転入者の増加等により、園舎の増設の予定があるが、定員は何名になるのか。

答 現定員は30名で、増設することにより、令和4年4月から最大で90名の定員となる予定です。

問 増設に伴い、保育士は不足しないのか。

答 今後、一定程度の増員は必要だが、来年度に関しては、現在いる保育士で対応出来ます。また、保育士の募集に関しての新たな取り組みとして、県内の保育課程がある大学に、積極的に情報を提供させていただき、募集について周知・PRしていきます。

■ 健康保険課 ■ 新型コロナウイルスワクチン接種

問 予約期間内に予約ができなかった方が、今後、接種を希望した場合、接種することは可能か。

答 状況により、接種の可否や、予約可能な場合の手続き等が変更となるため、まずは健康保険課健康係までお電話ください。

連絡先：0240-34-0249

■ 教育委員会 ■ 復興海浜緑地整備

問 復興海浜緑地の整備計画があるが、内容や用途は。

答 沿岸部に交流の場として、パークゴルフ場の整備も検討しており、緊急時には、資材置場や駐車場等の防災バックアップスペースとして活用を予定しています。

■ 介護福祉課 ■ 出張所

問 令和3年度の各出張所移転等の予定は。

答 各出張所の移転については次のとおりとなります。

出張所名	住 所	交流館	業務開始(予定)日
二本松出張所	二本松市槻木253-8		8月2日(月)
福島出張所	福島市渡利字舟場2-1	○	5月31日(月)
いわき出張所	いわき市平地内で調整中	○	10月

町内施設を視察

6月14日(月)に棚塩産業団地などの町内施設を全議員16人で行い、着々と歩みを進めている町の復興状況を確認しました。

視察場所

棚塩産業団地 → カントリーエレベーター(棚塩) → 請戸漁港 → 旧請戸小学校 → 水産加工団地 → 請戸住宅団地・南産業団地 → 酒井・谷津田メガソーラー → 大堀防災コミュニティセンター → 地域公共施設(旧ふれあいセンター) → 藤橋産業団地



木材製品生産拠点施設(棚塩産業団地内)

議会活動の経過報告 5月11日～7月10日

(定例会及び臨時会中の全員協議会・各委員会を除く)

5月

- 12日 ・ 議会報編集特別委員会
- 13日 ・ 正副議長関係機関挨拶まわり(郡内議会、双葉地方町村会、双葉地方広域市町村圏組合)
- 17日 ・ 双葉地方広域市町村圏組合議会保健衛生常任委員会(富岡町)
- 20日 ・ 双葉地方広域市町村圏組合議会消防厚生常任委員会(富岡町)
- 21日 ・ 双葉地方広域市町村圏組合議会総務常任委員会(富岡町)
- ・ 双葉地方町村議会議長会(富岡町)
- 24日 ・ 全員協議会
- 28日 ・ 双葉地方広域市町村圏組合議会定例会(富岡町)

- 3日 ・ 福島県町村議会議長会定期総会(福島市)
- 8日 ・ 6月定例会(～16日)※1
- 28日 ・ 双葉地方広域市町村圏組合議会全員協議会(富岡町)
- ・ 議会報編集特別委員会

7月

- 2日 ・ 双葉地方町村議会議長会要望活動(東京都)
- ・ 議会報編集特別委員会
- 3日 ・ 第5回双葉地方復興記念還暦軟式野球大会(檜葉町)
- 8日 ・ 議会報編集特別委員会
- ・ 議員定数調査特別委員会

6月

- 2日 ・ 議会運営委員会

※1 本会議の出欠状況は、町ホームページ(浪江町議会→会議結果一覧)をご覧ください。



請願・陳情ができます。

町政についての自分たちの意思や要望を、直接文書で町議会へ提出できます。請願は、議員の紹介を必要としますが、陳情は必要ありません。

なお、請願・陳情をされる場合は、「浪江町ホームページ⇒浪江町議会⇒請願・陳情の仕方」にその方法を掲載していますので、これを参考にしてください。

町民の声



佐山 弘さん
(請 戸)

新議員に 望むこと

あの東日本大震災、原発事故からまだ10年、人により捉え方は様々ですが、私にはもう10年です。知らない土地で不安を抱えながら、各地を転々とした避難生活の後、現在はいわき市に住んでおります。その間に父母も他界し、あの事故がなければ、もっと平穏な暮らしと共に見送れたのかなと、悔しい日々を過ごしております。

たまに帰りますと、景色もスツカリ様変わりしており、自分の生まれ育った家のあった場所さえ迷います。道の駅、震災遺構、港、水素製造施設などハード面は整備されても、復興

したなどという実感はわいてきません。私には失われた10年は思い出されても、これからの10年は想い描くこともできませんが、未来を託す浪江町議会議員選挙が4月8日告示で行われ、新しい顔ぶれが決まりました。

今回は無投票当選でしたが、町民の審判を受けなくとも、我々の代表者であることに変わりはありません。今後の4年間町のかじ取りを担う議員の方々には、無投票に見られる議員のなり手不足、人口減少によるこれからの財源不足問題、それに伴う行政サービスの低下の懸念、各地に避難している町民との絆の維持など、今でも問題は山積しております。これらの諸問題は、いつ解決するのか先は見えません。が、「議会だより」には、町民に対し「目に見える」、「わかりやすい」形での経過、審議内容と活動の記載を求めます。

議員になられた方々は、それぞれ町に対する想いと、今後の産業、生業、復興に自分なりの考えを伝え、反映させるべく立候補されたものと思います。

新人議員、再選議員どちらも

初心を忘れず活動をされることを望みます。

最後にある雑誌で、遠距離通勤の元議員の方が、町に戻れどか、緊急事態にすぐには駆け付けられない等の批判や、通勤に掛かる時間も考慮し、考えた末に立候補を断念したとの記事も拝見しましたが、遠方に住んでいるからこそ、見える、気が付くこともあるのではないかと、そんな避難者の声を行政に反映して頂く事こそ我々町民目線での代弁者であると思っております。今後の活動に期待しながら、帰る日を模索しております。

「町民の声」に掲載する 原稿を募集しています。

議会に対するご意見、要望、感想等をお寄せいただける方は、浪江町議会事務局(☎0240-34-0254)または、議会報編集特別委員にご連絡ください。

編集後記

新型コロナウイルスの影響で、思うように外出もできず、明るい話題も少ない中で、東京オリンピック大会が開催され、続いてパラリンピック大会の開催も近づいてきました。

スポーツ祭典よりも、人命優先の声も散見されますが、やはりここは、ワクチン頼みしかないのか、国の動きも気になるところです。

一日も早くワクチン接種も終わり、元の生活に戻れることを願うばかりです。

明けない夜はない、この格言を信じて一日一日を大切に。(高野)

発行責任者

議長 佐々木 恵 寿

議会報編集特別委員会

委員長 高野 武

副委員長 紺野 武豊

委員 武藤 晴男

吉田 邦弘

小澤 英

佐々木 茂

